【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書 【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

 【提出先】
 関東財務局長

 【提出日】
 令和元年9月27日

【事業年度】 自 平成30年1月1日 至 平成30年12月31日

【会社名】 クレディ・アグリコル・コーポレート

・アンド・インベストメント・バンク

(Crédit Agricole Corporate and Investment Bank)

【代表者の役職氏名】 マネージング・ディレクター・グローバル・マーケット

・ディビジョン

(Managing Director Global Market Division)

ベンジャミン・ランベール

(Benjamin LAMBERG)

【本店の所在の場所】 フランス国、モンルージュ・セデックス、92547 CS 70052

レ・ゼタジュニ広場 12番地

(12, place des Etats-Unis CS 70052

92547 Montrouge Cedex

France)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 福 田 直 邦

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号

大手町パークビルディング

アンダーソン・毛利・友常法律事務所

【電話番号】 03-6775-1000

弁護士 田村将人

【連絡場所】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号

大手町パークビルディング

アンダーソン・毛利・友常法律事務所

【電話番号】 03-6775-1453

03-6775-1552

【縦覧に供する場所】 該当事項なし

1 【提出理由】

令和元年5月23日に提出いたしました平成30年12月31日に終了した事業年度に係る有価証券報告書の記載 事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出 するものであります。

2 【訂正事項】

訂正箇所は下線を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第6 【経理の状況】

1 【財務書類】

<訂正前>

A. 連結財務諸表

(中略)

注記1: 当社グループが採用している会計原則および会計方針、使用した判断および見積り

1.1 適用基準および比較可能性

(中略)

欧州連合による 公表日	強制適用日 (以下の日に開始 する事業年度)	当社グループの 適用の有無
2016年11月22日	2018年1月1日	はい
(UE 2016/2067)		
2017年11月3日	2018年1月1日	はい
(UE 2017/1988)		
2016年9月22日	2018年1月1日	はい
(UE 2016/1905)		
2017年10月31日	2018年1月1日	はい
(UE 2017/1987)		
	公表日 2016年11月22日 (UE 2016/2067) 2017年11月3日 (UE 2017/1988) 2016年9月22日 (UE 2016/1905)	欧州連合による 公表日 (以下の日に開始 する事業年度) 2016年11月22日 (UE 2016/2067) 2017年11月3日 (UE 2017/1988) 2016年9月22日 (UE 2016/1905) 2017年10月31日 2018年1月1日

訂正有価証券報告書

IFRSの年次改善「2014年 - 2016年サイクル」			
- IFRS第12号「他の企業への関与の開示」	2018年2月7日	2017年1月1日	はい
- IAS第28号「関連会社および共同支配企業に対する	(UE <u>2016</u> /182)	2018年1月1日	はい
投資」		2018年1月1日	いいえ
- IFRS第1号「国際財務報告基準の初度適用」			

(中略)

注記3:財務管理、リスク・エクスポージャーおよびヘッジの方針

(中略)

3.4.4 ヘッジ手段であるデリバティブ取引:残存期間別分析(想定元本) デリバティブの想定元本の内訳を契約上の残存期間別に表示している。

	2018年12月31日							
	取引所取引			店頭取引			_ 市場価値	
百万ユーロ	1年以内	1年超 5年以内	5年超	1年以内	1年超 5年以内	5年超	合計	
金利商品				54,701	8,646	2,533	65,880	
先物								
FRA								
金利スワップ				54,701	8,646	2,532	65,879	
金利オプション								
キャップ - フロア - カラー						1	1	
その他のオプション								
通貨商品				8,911	139		9,050	
通貨先物				8,911	139		9,050	
通貨オプション								
その他の商品				140			140	
その他				140			140	
小計				63,752	8,785	2,533	75,070	
先物為替予約				39,445	114		39,559	
ヘッジ手段であるデリバティブの想定元本合 <u>計</u>				103,197	8,899	2,533	114,629	

(中略)

注記6:貸借対照表に対する注記

(中略)

6.17 資本

2018年12月31日現在の資本構成

2018年12月31日現在、資本および議決権の所有割合は以下の通りである。

	12月31日現在の状況					
	2018年 2017年 2016年					
クレディ・アグリコル・CIBの株主	株式数	資本に 占める 割合	議決権の 所有割合	資本に 占める 割合	議決権の 所有割合	
クレディ・アグリコルS.A.	283,037,778	97%	97%	97%	97%	

SACAMデヴェロップモン ⁽¹⁾	6,485,666	2%	2%	2%	2%
デルフィナンス ⁽²⁾	1,277,888	0%	0%	0%	0%
個人	14	ns	ns	ns	ns
合計	290,801,346	100%	100%	100%	100%

(中略)

注記10:金融商品の公正価値

(中略)

10.2 公正価値で測定している金融商品に関する情報

(中略)

下表は、これらの商品の大部分の評価技法、ならびに重要な観察可能でないインプットおよびその範囲を示している。

商品の種類	貸借対照表上		レベル3を構成する	使用した評価技法	重要な観察可能で	観察可能で
	の評	の評価額 主な商品の種類			ないインプット	ないデータの
	(百万二	1-0)				範囲
	資産	負債				
金利デリバティブ	1,277	1,649	解約可能な長期の商品	金利オプション	フォワード・	
			(キャンセラブル・	評価方法	ボラティリティ	
			ゼロ・クーポン・			
			スワップ)			
			金利オプション		CMS相関	0% / 100%
			証券化スワップ	早期償還モデル	早期償還率	0% / 50%
				および割引後将来		
				キャッシュ・		
				フロー		
			金利/為替の長期混合商 ロ(DDDC)	混合商品の金利/ 為替レート評価	金利/金利相関	50% / 50%
			1	気質レード計画 モデル	金利/為替相関	-50% / 50%
			複数の原資産をもつ商品 (デュアル・レンジ等)	複数の原資産を もつ商品に係る	<u>為替</u> 相関	-50% / 75%
			() <u>1</u>) <i>M</i> · <i>D D</i> D	評価モデル	為替/為替相関	-20% / 50%
					金利/株式相関	-25% / 75%
					金利/金利相関	-10% / 100%
					金利/為替相関	-10% / 100%

(中略)

B. クレディ・アグリコル・コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(S.A.)財務諸表

注記1:会計原則および会計方針

1.1 債権および契約コミットメント

(中略)

リストラクチャリング債権

(中略)

債務者の財政状態を理由にリストラクチャリングを行った債権は、バーゼル規制に準拠して評価し、信用リスクの見積りを基に減損を行っている。当該債権は、30日超延滞となった時点で個別に減損処理を実施している。正常債権への回復後、債務者が所定の期限を遵守しない場合、当該リストラクチャリング債権は即時に貸倒懸念債権に引き下げる。

(後略)

<訂正後>

A. 連結財務諸表

(中略)

注記1: 当社グループが採用している会計原則および会計方針、使用した判断および見積り

1.1 適用基準および比較可能性

(中略)

基準、修正または解釈指針	欧州連合による 公表日	強制適用日 (以下の日に開始 する事業年度)	当社グループの適用の有無
IFRS第9号「金融商品」	2016年11月22日	2018年1月1日	はい
金融商品:分類および測定、減損およびヘッジ会計に	(UE 2016/2067)		
関してIAS第39号を置き換える			
IFRS第4号「保険契約」およびIFRS第9号「金融商	2017年11月3日	2018年1月1日	はい
品」の修正	(UE 2017/1988)		
保険業を行う企業がIFRS第9号とIFRS第4号間の適用			
の不整合に対処可能となる任意のアプローチの提案			
IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」	2016年9月22日	2018年1月1日	はい
工事契約の会計処理に関してIAS第11号を、収益の認	(UE 2016/1905)		
識および会計処理に関してIAS第18号を置き換える			
IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の修正	2017年10月31日	2018年1月1日	はい
IFRS第15号の明確化	(UE 2017/1987)		
IFRSの年次改善「2014年 - 2016年サイクル」			
- IFRS第12号「他の企業への関与の開示」	2018年2月7日	2017年1月1日	はい
- IAS第28号「関連会社および共同支配企業に対する	(UE <u>2018</u> /182)	2018年1月1日	はい
投資」		2018年1月1日	いいえ
- IFRS第1号「国際財務報告基準の初度適用」			

(中略)

注記3:財務管理、リスク・エクスポージャーおよびヘッジの方針

(中略)

3.4.4 ヘッジ手段であるデリバティブ取引:残存期間別分析(想定元本)

デリバティブの想定元本の内訳を契約上の残存期間別に表示している。

	2018年12月31日						
	取引所取引			店頭取引			
百万ユーロ	1年以内	1年超 5年以内	5年超	1年以内	1年超 5年以内	5年超	合計
金利商品				54,701	8,646	2,533	65,880
先物							
FRA							
金利スワップ				54,701	8,646	2,532	65,879
金利オプション							
キャップ - フロア - カラー						1	1
その他のオプション							
通貨商品				8,911	139		9,050
通貨先物				8,911	139		9,050
通貨オプション							
その他の商品				140			140
その他				140			140
小計				63,752	8,785	2,533	75,070
左物為替予約			_	39,445	114	_	39,559
ヘッジ手段であるデリバティブの想定元本合 計				103,197	8,899	2,533	114,629

(中略)

注記6:貸借対照表に対する注記

(中略)

6.17 資本

2018年12月31日現在の資本構成

2018年12月31日現在、資本および議決権の所有割合は以下の通りである。

	12月31日現在の状況							
		2018年		2017年	2016年			
クレディ・アグリコル・CIBの株主	株式数	資本に 占める 割合	議決権の 所有割合	資本に 占める 割合	<u>資本に</u> 占める 割合			
クレディ・アグリコルS.A.	283,037,778	97%	97%	97%	97%			
SACAMデヴェロップモン ⁽¹⁾	6,485,666	2%	2%	2%	2%			
デルフィナンス ⁽²⁾	1,277,888	0%	0%	0%	0%			
個人	14	ns	ns	ns	ns			
合計	290,801,346	100%	100%	100%	100%			

(中略)

注記10:金融商品の公正価値

(中略)

10.2 公正価値で測定している金融商品に関する情報

(中略)

下表は、これらの商品の大部分の評価技法、ならびに重要な観察可能でないインプットおよびその範囲を 示している。

商品の種類	貸借対		レベル3を構成する 主な商品の種類	使用した評価技法	重要な観察可能で ないインプット	観察可能で ないデータの
	(百万ユーロ)				AVI 2 2 2 1	範囲
	資産	負債				
金利デリバティブ	1,277	1,649	解約可能な長期の商品 (キャンセラブル・ ゼロ・クーポン・ スワップ)	金利オプション評価方法	フォワード・ ボラティリティ	
			<u>ハッック</u> 金利オプション		CMS相関	0% / 100%
			証券化スワップ	早期償還モデル および割引後将来 キャッシュ・ フロー	早期償還率	0% / 50%
			 金利/為替の長期混合商 R/PDDC)		金利/金利相関	50% / 50%
			品(PRDC)		金利/為替相関	-50% / 50%
			複数の原資産をもつ商品 (デュアル・レンジ等)	複数の原資産を もつ商品に係る	株式相関	-50% / 75%
				評価モデル	為替/為替相関	-20% / 50%
					金利/株式相関	-25% / 75%
					金利/金利相関	-10% / 100%
					金利/為替相関	-10% / 100%

(中略)

B. クレディ・アグリコル・コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(S.A.)財務諸表

注記1:会計原則および会計方針

1.1 債権および契約コミットメント

(中略)

リストラクチャリング債権

(中略)

債務者の財政状態を理由にリストラクチャリングを行った債権は、バーゼル規制に準拠して評価し、信用リスクの見積りを基に減損を行っている。正常債権への回復後、債務者が所定の期限を遵守しない場合、当該リストラクチャリング債権は即時に貸倒懸念債権に引き下げる。

(後略)